

第3回香美町香住区小学校等再編検討委員会 議事録

日時：令和5年2月14日（火）19：00～20：00

場所：香美町役場3階 大会議室

（出席）

委員：20名、事務局4名

（欠席）

委員：1名

1. 開会

進行：事務局

2. あいさつ

前田教育長

3. 協議事項

(1) 幼稚園の統合の方式、園舎、園名、園歌、園章について

前回提案の事務局案の内容と理由についてあらためて説明

【事務局説明】

（教育長）：前回の委員会でもお願いしたとおり、持ち帰って意見集約をした結果を報告していただきたいと思います。

（香住地区区長会）：2月2日に協議した結果、認定こども園化がもっと早くならないかという議論に終始し、幼稚園の統合方式等について意見集約できませんでした。

（奥佐津地区区長会）：小学校の統合方式等と照らし合わせると、必然的にすべて事務局案どおりで結構です。

（佐津地区区長会）：すべて事務局案どおりで結構です。

（柴山地区区長会）：3区長に説明し意見を聞いたところ、事務局案どおりで良いとのことでした。

（長井地区区長会）：2月1日に区長会を開催した結果、すべて事務局案に賛成です。

（余部連合自治会）：すべて事務局案どおりで結構です。

（奥佐津幼小PTA）：意見聴取の結果、すべて事務局案に賛成となりました。

（佐津幼小PTA）：事務局案に賛成です。

（柴山幼小PTA）：すべて事務局案どおりでよいとのことでした。

(香住小PTA)：事務局案に異論はありません。

(長井幼小PTA)：すべて事務局案に賛成です。

(余部幼小PTA)：11人中10人は事務局案に賛成、1人はすべて新しくという意見でしたが、全体としては賛成です。

(香住幼小PTA)：すべて事務局案に賛成です。

(教育長)：ありがとうございました。意見が割れているようであれば、1項目ずつ確認をとらせていただくところですが、意見集約のできなかった香住地区区長会以外は、すべて事務局案に賛成ということですので、その方向で進めさせていただき、香住地区区長会にはその旨を説明して理解を得るようにしたいと思います

【異議なし】

(2) その他 ①再編に向けた課題検討委員会の進捗状況について

(教育長) ①再編に向けた課題検討委員会の進捗状況について、香住小学校の岩浅校長から報告をお願いします。

(岩浅校長)：昨年8月に教育委員会から香住小学校を中心に再編に向けた課題検討をとの指示を受け、8月29日、9月7日、26日、10月24日の4回にわたり、関係校長で下準備をし、11月10日に第1回課題検討委員会を開催しました。まずは、組織づくりとして、学校生活、生活指導、学習指導、備品の4部会を設け、すべての教職員がいずれかの部会に所属して検討する体制を整えました。

その後、1月16日の第2回委員会から各部会で再編に向けた課題の洗い出しを行っているところで、3月6日の第3回委員会で課題の整理を行い、本格的な検討は来年度からスタートすることになっています。

ただ、現段階で1次再編の3校の児童の事前交流については日程を決めており、令和5年度の6月、10月、11月、2月の4回の交流を計画しています。また、2次再編校との交流は令和7年度に実施する予定で話を進めています。

【質疑なし】

(2) その他 ②次回検討事項について

(教育長)：②次回検討事項について、事務局、説明をお願いします。

(事務局)：まず、2次再編も含め、学校再編における基本的方針としましては、園児・児童の精神的負担、体力的負担をできるだけ増やさないようにするため、編入される校区の通学方法はバスによるものとします。また、この度の再編に伴い、現在JRで通学している鎧地区

については、子供たちの負担を他の地区と平準化するためバス通学に変更するものとします。

そのうえで、令和6年度に再編となる校区の具体的な通学方法ですが、1点目に現在の奥佐津小学校区の地区はスクールバスによる通学を予定しております。2点目に現在の佐津小学校区の地区の通学方法につきましては、訓谷及び無南垣地区は町民バスによるものとし、相谷、安木、米地地区はスクールバスによるものとします。3点目として、1次再編に合わせて鎧地区の通学方法をスクールバスに変更させていただくことにします。

なお、参考ですが、通学に係る費用はすべて町が負担しますので、町民バスの場合は定期券代を全額補助し、スクールバスは無料となります。

このような案にした理由ですが、基本的には2次再編の柴山、長井、余部方面も含め、まずは町民バスを登下校の時間に合わせてダイヤ変更して対応するのを基本に検討していますが、奥佐津につきましては、丹生地方面、三川方面、土生方面というように複数の系統があり、町民バスの運行を委託している全但バスから車両や運転手の問題で、町民バスでは対応ができないと言われており、スクールバスにさせていただくことを考えています。

訓谷、無南垣地区については、幼稚園と小学校の登下校に合わせて町民バスの時刻変更や増便をして対応します。具体的な時刻については全但バスと調整中ですが、幼稚園と小学校低学年の下校便はスクール専用便とする予定にしていますし、土日の学校行事や下校時間が大きく変更になる場合は臨時便を運行して対応することになっています。

JRからバス通学に変更させていただく鎧地区ですが、現在、村岡でスクールバスとして使用している15人乗りのワゴンを香住に移し、運転員を確保のうえ、鎧の園児・児童の送迎を行う予定にしています。

なお、この度の提案は、令和6年度と7年度の通学方法ということでご理解いただきたいと思います。2次再編の柴山、長井、余部についてもバス通学を基本に今後、検討していきますので、令和8年度からは使用する車両や若干の時刻の変更があるかもしれませんが、基本線は変わらないものと思ってください。

以上、次回検討事項の通学方法についての提案説明とさせていただきます。

【質疑】

(佐津幼小PTA)：訓谷、無南垣の乗降場所がどこになるか教えてください。

(事務局)：現在の町民バスのバス停を想定していますが、子供たちの安全が第一ですので、持ち帰って意見を聞いていただき、変更が必要であれば全但バスと調整することも考えていきます。

(奥佐津幼小PTA) : 奥佐津地区の乗降場所について教えてください。

(事務局) : 現在の乗降場所を想定していますが、保護者の意見を聞いていただいて不都合な場所があれば変更を検討しますが、中学校との調整も必要になります。

(佐津幼小PTA) : 幼稚園の下校便がスクール専用ということですが、幼稚園の子だけで降りするのに不安があるのですが、補助員が付いてもらえるようなことはあるのですか。

(事務局) : 補助員は考えていません。以前からバス通学をしている村岡・小代でも補助員は付けておりません。ただ、園からバス停までは先生が引率することは可能ですし、バスを降りてから放課後児童クラブに行く場合であれば、支援員がバス停に迎えに行くことはできます。

(2) その他 ③今後の検討事項に関する意見、要望について

(教育長) : ③今後の検討事項に関する意見、要望について、保護者や地域の方からの意見、要望などがありましたらお聞かせください。

【意見、要望】

(佐津幼小PTA) : 通学方法はスクールバスで希望、よって他のJR沿線地区もバスで考えてほしい。幼稚園、低学年、高学年、それぞれの下校時間に合わせた対応をしてほしい。統合により子供たちがストレスを抱える可能性があるので、気持ちが落ち着けるよう放課後児童クラブは当面慣れ親しんだスマイルさづを残してほしい。

(長井地区区長会) : 通学方法はスクールバスにしてほしい。放課後児童クラブは長井にも残すとともに、香住、長井のどちらを利用してもよいようにしてほしい。

(奥佐津地区区長会) : 廃校後の利活用として、地元で雇用が生まれるような施設や福祉施設などにできないかという意見がありました。

(教育長) : 他にないようでしたら次回開催日は、年度替わりで各団体の役員が交代されることがあり、この委員会の委員も代わる可能性があることを考慮しまして、5月中に開催することとして改めてご案内させていただきます。

4. 閉会